

問題

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「―」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
（例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期]→前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。）
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。

（例：初段101ばそこ小次郎）

<入力データ>※テキストデータはフォルダー内のデータを使用する。

[仕入データ表]（24件）

仕入日	商品No	仕入数	仕入価額
2025/1/4	101	160	225,000
2025/1/4	102	190	228,400
2025/1/5	103	100	145,000
2025/1/5	201	129	174,200
2025/1/6	202	165	218,000
.....			
2025/1/20	102	140	165,000
2025/1/23	103	155	138,000
2025/1/23	201	150	219,000
2025/1/25	202	130	127,000
2025/1/26	203	90	113,000

[販売データ表]（30件）

販売日	販C O	商品No	販売数
2025/1/5	22	103	62
2025/1/6	11	201	105
2025/1/7	13	102	160
2025/1/9	12	203	55
2025/1/11	21	103	45
...	...	...	...
2025/1/28	12	201	51
2025/1/29	22	101	132
2025/1/30	13	102	59
2025/1/31	12	103	112
2025/1/31	21	101	65

<乗率表> [テーブル]

商品No	仕入数		
	1～99	100～149	150～
100番台	7.3%	7.5%	7.7%
200番台	5.9%	6.3%	6.8%

<取引先テーブル> [テーブル]

販C O	取引先
11	J P 商会
12	月岡貿易
13	東栄ストア
21	富士工業
22	佐藤商会

<商品テーブル> [テーブル]

商品No	商品	定価	期首在庫数
101	竹炭包	2,290	65
102	富士水	2,560	55
103	まな板	1,940	69
201	味噌麺	1,690	67
202	除菌液	3,100	46
203	野菜箱	2,480	40

<割引率テーブル> [テーブル]

区分	割引率
1	9.4%
2	8.6%
3	7.8%

※区分は販C Oの1の位。

<処理条件>

1. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式）、<乗率表>を使用し、<出力形式1>のような表を作成。

※日付の表示は<入力データ>のとおりとする。

<出力形式1>【仕入データ表】

仕入日	商品No	仕入数	仕入価格	仕入諸掛	仕入額
(途中省略)					

① 仕入諸掛 = 仕入価格 × 乗率 (100位未満切り上げ)

② 仕入額 = 仕入価格 + 仕入諸掛

2. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式）、<取引先テーブル>、<商品テーブル>、<割引率テーブル>を使用し、<出力形式2>のような表を作成。

※日付の表示は<入力データ>のとおりとする。

<出力形式2>【販売データ表】

販売日	販C O	取引先名	商品No	販売数	売価
(途中省略)					
——	合計	——	——		——

1. 取引先名は<取引先テーブル>を表検索。

2. 売価 = 定価 × (1 - 割引率) ※10位未満切り捨て

3. <出力形式1>、<出力形式2>、<商品テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3>【計算表】

商品No	商品名	仕入数	仕入額	販売数	期末在庫数	在庫評価額	判定
(途中省略)							
——	合計						——

1. 商品名は、“商品”の文字と<商品テーブル>の商品名を関数または演算子を使用して結合。

2. 仕入数・仕入額・販売数は基表の同項目の値を集計。

3. 期末在庫数 = 期首在庫数 + 仕入数 - 販売数

4. 在庫評価額 = 仕入額 ÷ 仕入数 × 期末在庫数 (整数未満切り捨て)

5. 在庫評価額が在庫評価額の平均以上に“*”の判定をする。

4. <出力形式2>、<取引先テーブル>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

<出力形式4>【計算表】

取引先別計算表

販C O	取引先名	販売額	諸経費	請求額
(途中省略)				
——	合計			

処理内容：

1. 取引先名は<取引先テーブル>を表検索。

2. 販売額 = 売価 × 販売数 ※基表の同項目の値を計算後、集計する。

3. 諸経費は<諸経費の計算式>を参照し求める。

<諸経費の計算式>

販売額	諸経費
125 万以上	販売額 × 1.7%
それ以外	販売額 × 1.4%

※諸経費は10位未満四捨五入。

4. 請求額 = 販売額 + 諸経費

5. <出力形式3>を基にグラフを「計算表」シートに作成。

1) グラフの種類は、商品名別の仕入数を折れ線、仕入額を縦棒にした複合グラフ。

2) グラフタイトル、凡例は画像のとおりにする。

